

機械学習を用いた食道バーチャルヨード内視鏡の確立と表在型食道癌に対する 範囲診断能の検討

1. 研究の対象

2014年3月1日～2021年10月31日に岩手医科大学および由利組合総合病院で表在型食道癌に対して内視鏡治療を行った方。

2. 研究期間

研究実施許可後～2024年12月31日まで

3. 研究目的・方法

目的：食道癌の内視鏡画像を基にバーチャルヨード内視鏡画像を作成し、通常内視鏡画像とバーチャルヨード内視鏡画像での食道癌の範囲診断能を比較検証することを目的としています。

方法：診療記録を閲覧しながら、患者様の個人情報を排除して、内視鏡画像、検査所見、治療内容の医学情報の解析を実施し、機械学習を用いて食道バーチャルヨード内視鏡画像を作成しその有用性を検証します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：（2014年3月1日～2021年10月31日の間に表在型食道癌に対して内視鏡治療を行った患者（全体195名、本学168名）のカルテ情報（年齢、性別、内視鏡治療法、内視鏡治療後の病理組織結果（情報のみ）等）と内視鏡画像

試料：なし

5. 個人情報管理

得られた情報は匿名化し、個人が特定できない状態で使用します。個人情報を匿名化するときに使用する対応表は、本学の個人情報管理者が保管・管理します。

また本研究で得られた研究結果は、臨床医学への貢献のために学会発表および学術誌への論文投稿を行い公表します。学会発表の際は個人が特定されることはありません。

6. 外部への試料・情報の提供

食道バーチャルヨード内視鏡画像の作成に伴う画像情報は個人が特定できない状態で東京工業大学に集約し解析を行います。他のカルテ情報に関しては研究事務局へデータを提供します。提供は、電子媒体を用いて特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。各施設のデータは岩手医科大学に集約され解析が行われます。

7. 研究組織

由利組合総合病院（道免 孝洋）、日本大学病院（後藤田 卓志）、東京工業大学工学院（奥富 正敏、紋野 雄介）、国際福祉大学市川病院（鈴木 翔）、岩手医科大学附属病院（松本 主之）

8. 研究費および利益相反

本研究は通常診療における後ろ向き研究（既存の診療録より情報を集める研究）であり、特定の検査や費用は発生しません。万が一、必要な研究費が発生した場合は内科学講座消化器内科消化管分野講座研究費により実施されます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的および大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はございません。

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学内科学講座消化器内科分野 鳥谷 洋右

岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1-1

TEL 019-613-7111（内線:6222） FAX 019-907-7166

E-mail: ytoya@iwate-med.ac.jp

研究責任者：

岩手医科大学内科学講座消化器内科分野 松本主之

岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1-1

TEL 019-613-7111（内線:6222） FAX 019-907-7166

-----以上